

## 2021年度 第一回 名大本番レベル模試 国語採点基準

Ⅰ 文(文章)で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。

b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。

ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されていません。

c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点(独立採点)すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

d 解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

a 答案中に大きな誤読と判定される内容(語句)などがある場合は、その内容(語句)を減点要素として示されている場合もあります。

b 加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。

b 脱字。

c 文末の句点の脱落。

\* 字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。

d その他不適切と判断せざるをえない箇所。

e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。

たとえば「:とはどういうことか?」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。

また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

\* ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。

また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。

b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。

c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたもの。

d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

一

■採点の原則

- ① 全ての答案について各要素単独採点とするが、答案が全く日本語の文(章)の体をなしていないと判断される場合は、要素の有無に関係なく0点とする。
- ② 明らかな誤字、語句・接続語・助詞等の誤用はそのつどマイナス1点。
- ③ 正答の要素を含んでいても説明の方向性が全くズレていると判断される答案は0点としてよい。

※ 問一・問二・問三(2)は解答例のみ正解とする。問一の読みが平仮名になっている場合は0点。問三(2)は 完答のみ6点与える。

問一 解答通り 各2点

- |   |     |   |      |   |    |   |      |   |    |
|---|-----|---|------|---|----|---|------|---|----|
| a | 念頭  | b | 皮膚   | c | ジ  | d | マジ   | e | 加減 |
| f | クフウ | g | アイサツ | h | 継承 | i | オンイン | j | 精粹 |

問二 解答通り 各3点

- 1||イ      2||ケ

■形式上の不備

- ・文末表現は要素G参照

基準 配点4点

■模範解答例

A

B

C

外国語の文章を構成している 一つ一つの単語の意味を日本語の単語に対応させ、付属語を補うことによ

D

E

F

て日本語ふうの語順に転換すれば、原文の厳密な意味が理解できていなくても、形式上の日本語の文は成

立するから

■要素A「外国語の文章を構成している」…2点

- ・要素Bの「一つ一つの単語」に対する修飾句。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「一つ一つの単語の意味を日本語の単語に対応させ」…3点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可とするが、「意味」という語を欠く場合は1点減点。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「付属語を補うことによつて」…3点

- ・「付属語」は「テニヲハ」でもよい。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「日本語ふうの語順に転換すれば」…3点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・本文の「順序をひっくり返し」をそのまま使っているか、「順序を入れ替え」などとしている場合は2点。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E「原文の厳密な意味が理解できていなくても」…1点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。

■要素F「形式上の日本語の文は成立する」…2点

- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素G「…から…ので…ため、という理由」など、答案が理由説明の形式になっていればよい。不適切

な文末表現と判断される場合は1点減点。

問三(2) 完答のみ許容 6点 (片方だけでは0点)

先進文明 〽 するため

問四(1)

■形式上の不備

・文末表現は要素E参照

基準 配点10点

■模範解答例

A

B

C

ある言語が異質な他の言語と接触してその影響を受けた時、個々の単語が最も変化しやすく、品詞で言うと、  
名詞が最も異質な言葉を受け入れやすいから。

D

■要素A「ある言語が異質な他の言語と接触してその影響を受けた時」…2点

- ・本文の「一つの言語が、異質な他の言語と接触し、てその影響を受けて変化するとき」に対応する。
- ・ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「個々の単語が最も変化しやすく」…3点

- ・本文の「個々の単語はもつとも変化しやすい」に対応する。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「品詞で言うと」…2点

- ・本文からそのまま抜き出したもの。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「名詞が最も異質な言葉を受け入れやすい」…3点

- ・本文からそのまま抜き出したもの。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E「…から…ので…ため、という理由」など、答案が理由説明の形式になっていればよい。不適切な文末表現と判断される場合は1点減点。

■形式上の不備

- ・文末表現は要素E参照

基準 配点10点

■模範解答例

A

B

C

D

オランダ語を翻訳した蘭学者が、「何々は」という主語表現、英語の **b e** 動詞に対応する判断表現としての

「何々である」を作り出すことによって典型的な翻訳的文型が成立した。

■要素A「オランダ語を翻訳した蘭学者」…3点

- ・「翻訳的文型」を作り出した主体の提示。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・「蘭学者」という語しかない場合、説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「『何々は』という主語表現」…3点

- ・「何々は」が主語として使われるようになったことが読み取れれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素C「英語の **b e** 動詞に対応する」…2点

- ・要素Dに対する修飾句。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「判断表現としての『何々である』を作り出す」…2点

- ・「何々である」が判断表現として作り出されたということが読み取れれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素E 設問文の「どのようにして成立したのか」という問い方に対応していると判断できる文末表現を広く許容してよい。不適切な文末表現であると判断される場合は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素E参照

★ 設問文にあるとおり「ヨソユキ」「フダン」という語の使用は禁止されている。答案中に使用されている場合はその都度1点

基準 配点14点

■模範解答例

A  
日本人の外国文化の受容法には確固とした形式的構造があり、その結果日本文化の国際性は希有な豊かさを獲得したが、外国への日本文化の発信には、その形式性がむしろ障害となり、日本文化の閉鎖性を生み出している。

C  
B  
D

■要素A「日本人の外国文化の受容法には確固とした形式的構造があり」…3点

- ・本文の「ヨソユキの日本語は、それなりにしっかりした構造を持っていて、どんな外国語の文でも、とにかくこれで一応翻訳可能である」「ヨソユキの日本語は、こうしてもつぱら外国語を日本語へ受け入れるために、いわば国際的な受信用として育ってきた」といった記述をもとにした説明。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素B「日本文化の国際性は希有な豊かさを獲得した」…4点

- ・本文の「この直訳という方法でこそ、世界でも稀なほど」「日本文化の国際性を豊かにしている」といった表現に基づく説明。「希有な」はなくてもよく、ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は2点。

■要素C「外国への日本文化の発信には、その形式性がむしろ障害となり」…3点

- ・本文の「文化の発信の場合」「フダンの日本語である限り、困難はたちまちやってくる」、また「外国語と直接付き合うのは、やはりヨソユキの日本語ということになり、フダンの日本語の発信の道は、外に閉ざされている」といった記述に基づく説明。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は1点。

■要素D「日本文化の閉鎖性を生み出している」…4点

- ・本文の「フダンノ日本文化は国際的にはきわめて閉鎖的で、他方にヨソユキの日本語があるおかげでかえって閉鎖的なままで温存される仕組みになっている」という記述に基づく説明。ほぼ同等の説明内容であると判断できれば可。
- ・説明が曖昧であると判断される場合は2点。

- 要素E 設問文の「筆者はどのように考えているか」という問い方に対応していると判断できる文末表現を広く許容してよい。不適切な文末表現であると判断される場合は1点減点。

## 名大本番レベル模試 二(蜻蛉日記)

問一 ア

配点：12点

■現代語訳の問題

■採点方法：各要素単独採点

■字数制限無し

■形式上の不備 ・文末表現・句読点は不問

■模範解答

a

b

c

d

e

このような私たちの冷えた夫婦仲を見舞ってもくださらないのは、夫と貞観殿がするはずのない御仲たがいをしてしまったので、私のもも疎遠に思いになるのでしょうか。

■要素a このような私たちの冷えた夫婦仲を：3点

・同意例：こんな・こうした など。①点

・「冷えた・良くない・順調ではない」など関係が良くないことがわかれば可。①点

・同意例：男女の仲。①点

■要素b 見舞ってもくださらないのは：2点

・同意例：「訪れる・手紙をくれる」なども可 ①点

・尊敬「くださる・おくなる・なさる」+打消「ない」 ①点

■要素c 夫と貞観殿がするはずのない御仲たがいをしてしまったので：3点

・夫兼家と貞観殿の 仲違い である点が明示されていて①点

・同意例：あつてはならない・ありえない・不適當だ など①点

・完了「た・てしまふ」+原因理由「ので・から・ため」①点

■要素d 私のもも：1点

・「もも」が作者道綱母を指すことがわかれば可。 場所を指しているものは不可。

■要素e 疎遠に思いになるのであろうか。：3点

・同意例：疎ましい・なじめない など好感が持てないことがわかれば可。①点

・「思い」の尊敬語 お思いになる・思いなさる ①点

・断定「で」+推量「だろう・あろう」+疑問「か」 ①点

■その他：真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

問一 イ 配点：8点

■現代語訳の問題

■採点方法：各要素単独採点

■字数制限無し

■形式上の不備 ・文末表現・句読点は不問

■模範解答

a

b

c

d

手紙を書いても、あなたからの返事もなく、きまりが悪いようにばかりしているから、訪れるの

も遠慮されて行かないのです。

■要素a 手紙を書いても：2点

・「手紙・書簡・恋文」など。①点

・代動詞「ものす」は「書く・送る・届ける・やる」などでも可。①点

■要素b あなたからの返事もなく：1点

・「返事・返信」など＋「ない・こない・もらえない」など。完答①点

・「あなたからの」はなくても不問。

■要素c きまりが悪いようにばかりしているから：3点

・「きまりが悪い・ばつがわるい・気まずい・体裁が悪い・そっけない」など。①点

道綱母が兼家に不信感を持つあまり打ち解けない態度を取っていることが分かれば可。

「中途半端だ」は不可。

・限定「だけ・ばかり・のみ」①点

・推定「ようだ・らしい」＋原因理由「ので・から・ため」①点

■要素d 訪れるのも遠慮されて行かないのです：2点

・「遠慮される・気兼ねされる・気が引ける・きまりが悪い」。兼家の心情。①点

・「訪れない・行かない・足が遠のく」など道綱母を訪問しないという兼家の行動を補う。①点

■その他：真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問



問二 A

配点：7点

■ 心情説明の問題

■ 採点方法：各要素単独採点

■ 字数制限無し

■ 形式上の不備 ・「(人物)の(どのような)心情。」の形式であること。句読点は不問。

■ 模範解答

a

b

c

道綱の母の、貞観殿からの和歌によって、夫兼家との夫婦仲が悪くなってしまったことをあらた

d

e

めて感じ、いっそう嘆き悲しむ心情。

■ 要素 a 道綱の母の：1点

・ 同意例：作者の・藤原道綱母の など。

■ 要素 b 貞観殿からの和歌によって：2点

・ 貞観殿からの。①点

・ 和歌・手紙・言葉によって。①点

■ 要素 c 夫兼家との夫婦仲が悪くなってしまったことをあらためて感じ：2点

・ 道綱母と兼家の「夫婦仲」。①点

・ 関係が「悪化したこと・悪いこと。途絶えがちなこと・途絶えていること」①点。

■ 要素 d いっそう嘆き悲しむ：1点

・ 「悲しい気持ち・嘆き・物思い」が「増加した・ついった」ことがわかれば可。完答①点

■ 要素 e 心情。：1点

・ 文末は「心情・気持ち」などでまとめること。

■ その他：真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

問二 B

配点：7点

■ 心情説明の問題

■ 採点方法：各要素単独採点

■ 字数制限無し

■ 形式上の不備 ・「(人物)の(どのような)心情。」の形式であること。句読点は不問。

■ 模範解答

a

b

c

d

道綱の母の、約束しておきながらまた訪れが途絶える夫に、予想どおりとは思いつつも裏切られ

e

f

た気持ちになり、以前よりいっそう悲しく思う心情。

■ 要素 a 道綱の母の：1点

・ 同意例：作者の・藤原道綱母の など。

■ 要素 b 約束しておきながらまた訪れが途絶える夫に：2点

・ 兼家・夫が ①点

・ 約束を破った・また訪れない のどちらかがわかれば可 ①点

■ 要素 c 予想どおりとは思いつつも：1点

・ やはり・思ったとおり など予想が的中したことがわかれば可。

■ 要素 d 裏切られた気持ちになり：1点

・ 要素 cとは反対に、「期待」していた部分もあったことが「裏切られた」ことがわかれば可。

■ 要素 e 以前よりいっそう悲しく思う：1点

・ 「悲しい気持ち・嘆き・物思い」が「増加した・つった」ことがわかれば可。 完答①点

■ 要素 f 心情。：1点

・ 文末は「心情・気持ち」などでまとめること。

■ その他：真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

問三 (一) 配点：10点

■和歌の現代語訳の問題

■採点方法：各要素単独採点

■字数制限なし

■形式上の不備 ・文末表現・句読点は不問

■模範解答

a b c

夫の訪れがない私がおもひに沈んでいるように、稲を実らせるといふ稲妻の光さえも届かない

d

家の陰では、軒端の稲の苗もおもひに沈んでいるようだ。

■要素 a 夫の訪れがない：2点

・「夫・兼家・藤原兼家」①点＋「訪れがない・訪問が途絶えがちだ」①点

■要素 b 私がおもひに沈んでいるように：2点

・「私」 本来は和歌なので一人称だが、道綱母・藤原道綱母でも可とする。①点  
・「もの思いに沈む・思い悩む・悲しみにくれる」など。①点

■要素 c 稲を实らせるといふ稲妻の光さえも届かない家の陰では：4点

・稲妻が稲を实らせるといふ俗信について書いてあること。①点。  
・「稲妻」①点  
・類推「さえ」。①点  
・「届かない・さえぎられる・来ない」など ①点 軒に邪魔されてなどはなくても不問。

■要素 d 軒端の稲の苗もおもひに沈んでいるようだ。：2点

・「稲・稲の苗・苗・稲穂」など ①点  
・「もの思いに沈む・思い悩む・悲しみにくれる」＋推定「ようだ・らしい」など。①点

■その他：真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

問三 (口)

配点：10点

■和歌の現代語訳の問題

■採点方法：各要素単独採点

■字数制限なし

■形式上の不備 ・文末表現・句読点は不問

■模範解答

a

b

c

d

もうこれきりだろうと思う夫の縁続きの方であっても、貞観殿とはこうして少しの間も仲を絶や

すまいと私は思っています。

■要素 a もうこれきりだろうと思う夫の縁続きの方であっても：2点

・「もうこれきりだろうと思う夫」①点

・「縁続きの方であっても」①点

\*これは注にあるので、ほとんどの場合は模範解答どおりになると思われる。

■要素 b 貞観殿とは：2点

・貞観殿に送った手紙であるので、「あなた」でもよいものとする。

■要素 c こうして少しの間も：2点

・こうして・このようにして

または具体的に「こうして手紙のやりとりをして」など①点。

・少しの間・しばらくの間 など①点

■要素 d 仲を絶やすまいと私は思っています。：4点

・「関係を・仲を・やりとりを・交際を・縁を」など ①点

・「絶やす・断つ」など ②点

・打消意思 「しないつもりだ・まい・たくない」など①点

■その他：真逆の意味になっていなければ、余計な言葉があっても不問

**問四** 配点…各2点

■ 文学史の問題

■ 採点方法…作品ごと単独採点

■ 字数制限なし

■ 形式上の不備 漢字間違いは不可。

■ 模範解答

土佐日記・泉式部日記・紫式部日記・更級日記・成尋阿闍梨母集・讃岐典侍日記などから2つ。

★2021年度 第1回名大本番レベル模試

三 採点基準 ※60点満点

問一 各2点

a よく

b ことごとく

c ここをもつて

※解答通り

※カタカナ書きは不可

※送り仮名を含めていないものは不可

※c 「ここをもつて」の「つ」の大小は不問とする。

※c 「これをもつて」は不可。

問二 7点

A 3点

寛容なやり方で民を服させるのに対して

B 1点

次善のやり方としては

C 3点

厳しく治めるのにまさるものはない。

採点のポイント

A 直前の「寛を以て民を服す」に対して……3点

※さらに前の「政を為さん」や「唯だ徳有る者のみ」については不問。

※「くに対して」の段階であって、「くよりは（よりも）」ではない。2点減点。

B 「其の次は」の訳……1点

※「次善のやり方としては」「次善の策は」など可。

C 「猛に如くは莫し」の訳……3点

※「猛」の置き換え……1点

○ 「厳しいやり方」「厳格な政治」などは可

× 「猛烈なやり方」「勇猛な政治」「猛然ととりしまる」などは不可

※比較形「如くは莫し」の訳……2点

「く」にまさるものはない」「く」に及ぶものはない」「く」など可

※文末が「く」ということ」のようになっているものは1点減点。

問三 6点

A 2点

夫れ火は烈なれば、

B 2点

民望みて之を畏る、

C 2点

故に焉に死するもの鮮し。

採点のポイント

※ABCの部分配点とする

※すべてひらがなにしているものは、合っていればABC各1点与える

※読み順のミスや脱字があるものはABC各2点減点

↓

A 「夫 火↓烈」の読み……2点

※「夫」は「それ」であるが、「かの」としてあっても可とする

※「火烈」は「水は懦弱なれば」の対句であるから、「火は烈なれば」でなくてはならない。

X 「火烈しく」「火は烈にして」「火烈すれば」などは不可

↓

B 「民 望↓之↓畏」の読み……2点

※「民望みて之を畏る」のみ可。

※「而」は置き字。これを入れて「すなはち」「しかして」などとしているものは2点減点

※「望みて」ではなく「望み」としたものは1点減点

※「畏る」が「畏れ」になっているものは1点減点

↓

C 「故 焉↓死↓鮮」の読み……2点

※「故」は「ゆゑに」以外は1点減点

※「鮮」は「すくなし」。別のよみとしているものは2点減点



問四 8点

A 1点

厳しい政治をすれば、

B 1点

民は畏れて服従し、

C 1点

結果として罪を犯す者も少なくなるが、

D 2点

ゆるやかな政治をすると、

E 1点

民はつけ上がって上を侮り、

F 2点

悪事を働いて罪を犯す者も多くなるから

採点のポイント

A 傍線部「寛」に対比されるものの明示……1点

※「厳しい政治をすれば」「厳しく治めると」など可

B Cになる理由……1点

※「民は畏れて服従し」「民は上を畏れるので」など可

C Aのようにすると「易し」になるのはなぜか

※「民も罪を犯さなくなる」など可

D 傍線部そのものの「寛」について……2点

※「ゆるやかな政治をすると」「寛容に接すると」など可

E Fのような理由……1点

※「民はつけ上がって上を侮り」「民は好き勝手なことをして」など可

F 傍線部「寛は難し」になる理由

※「悪事を働いて罪を犯す者も多くなるから」「世が乱れてしまうから」など可

※文末表現は不問とする。

問五 8点

A 1点

大叔が、

B 3点

最初から子産の忠告に従って厳しい政治をしていれば、

C 4点

国内に盗賊が横行するような事態には陥らなかったであろう

D 不問

ということ。

採点のポイント

A 「吾」がだれかの説明……1点

※ 「私」「自分」は不可。

※ ここを取り違えているものはBやCもおかしくなるので全体を不可

B 「早く夫子に従はば」の内容説明……3点

※ 「早く」の要素が欠けているものは1点減点

※ 「夫子」とは「子産」。ここを「孔子」のようにしているものは不可

※ 「子産の忠告に従って」「厳しい政治をしていけば」のどちらかの要素が欠けていると1点減点

C 「此に及ばざらん」の内容説明……4点

※ 「世も乱れなかったであろう」のようなまとめ方のものは2点減点

※ 「く」と後悔している」のような心情の説明は不問

問六 5点

A 3点

子産の、

B 2点

子大叔に対する

, A

忠告。(14字)

採点のポイント

A 「子産の『忠告』」……3点

※ 「『言葉』」「『考え方』」も可

B 「(子) 大叔に対する」……2点

※ A Bに該当しないもので、「厳しく治めよという考え方」「厳しい政治が次善の策だという説」といった解答には3点のみ与える

問七 20点

A 4点

有徳者が寛容な政治をするのが理想であるが、

B 3点

次善の方法としては厳格な治め方をすべきである。

C 2点

寛容に過ぎると民は上を侮る。

D 2点

ただし、寛容にして乱れば厳格にしてひきしめ、

E 2点

厳格にして民が疲弊すれば寛容にして民を慰撫し、

F 4点

寛容に過ぎず厳格に過ぎず、寛容と厳格を補い合わせるのが、

G 3点

調和のとれた政治といえるのである。

採点のポイント

A 「唯だ徳有る者のみ能く寛を以て民を服す」が理想……4点

※ 「有徳者」が「寛(ゆるやか)」な政治するのが理想であることが言えていればよい。

B 「其の次は猛に如くは莫し」の要素……3点

※ 「次善」のやり方としては「猛(厳しい治め方)」がよいということ。

C 孔子の言の中の「政寛なれば則ち民慢る」の要素……2点

※ 「ゆるい治め方では民は従わない」なども可

D 「慢れば則ち之を糾すに猛を以てす」の要素……2点

※ 「寛」にして民が上を侮るようになって、世が乱れば、厳しくしてひきしめる、ということ。

E 「猛なれば則ち民残はる。残はるれば則ち之に施すに寛を以てす」の要素……2点

※ 「猛(厳格)」にして民が「残(そこなわれる)」になったら、「寛」にしてやる、ということ。

F 「寛以て猛を濟ひ、猛以て寛を濟ふ」と詩経の要素……4点

※ 「寛容に過ぎず厳格に過ぎず」は、なくてもよい。

※詩経の方の要素だけの場合は2点減点

G 「政を布くこと優優」「和の至りなり」の要素……3点

※政治の理想はAでなければBであるが、其の場合、Fのように「調和」がとれていることが大切である。「調和」に触れていなければ不可。